

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第200号

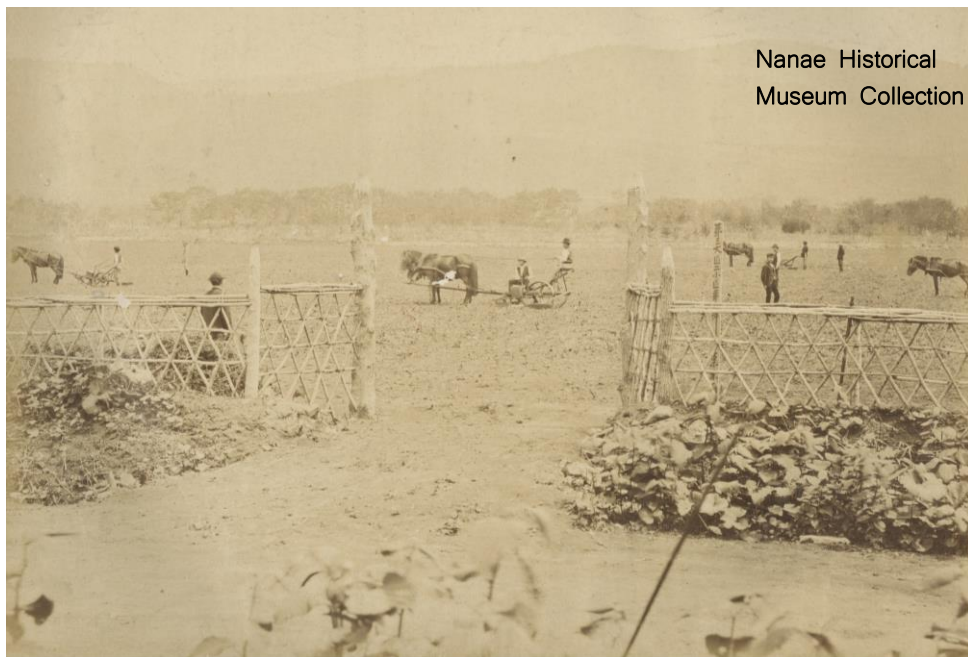
## ななえ古写真物語 VOL.200

### 明治期の撮影法

七重官園写真帖より

明治10年ごろ

鳴川地区か



Nanae Historical  
Museum Collection

日本における、近代農業発祥の地である七飯町。これまで、その歴史について何度も触れてきたので、今更かもしれないが、西洋の大型農器具を用いて、それらを牛馬の力を借りて牽かせるという方法で、従来の人材主体の農法よりも、早い時間で、広大な面積を、少ない人数で開墾することが可能となった。

この農法を日本人に初めて伝習したのが、ドイツ人のR（ラインホルト）・ガルトネルであり、その後、日本全国へ普及するため設立されたのが、開拓使「七重官園」である。要するに日本近代化の黎明期、七飯町（当時は七重村）に取り入れられた新たな農法と、それに関連する加工実験は、殖産興業の名のもとで産業の発展に寄与したのである。

文字だけでは中々伝わらないのだが、ほかの町にはない、七飯町の誇るべき歴史であることを、この誌面でも繰り返し綴っているのは、少しでも多くの人に、その史実を知ってもらえれば、いつかどこかで、何かを変える力になるかもしれないという思いからでもある。地道かもしれないが、これからも、出来ることを少しずつ積み重ねていきたいと思うので、応援いただけると嬉しい限りである。

さて、そんな近代農業発祥の歴史に関係する写真はないかと探していたら、大勢で何やら作業しているものに辿り着いた。

よく見ると、斜め格子を施した木柵の奥で、馬に農器具を牽かせている様子であった。また木柵のそばには木柱が立てられ「第三大区二小区第●● 菓木園」と記されていた。菓木はリンゴのことを示しているのだが、それと思しき姿が見当たらない。苗木を植えるために開墾しているのかとも思ったのだが、使用している農具は、どう見ても開墾用ブラウではない。腑に落ちないので、詳細を調べていると、元七重官園職員だった大山重武が記した写真説明が見つかった。それには「七飯村国道上第三大区二小区第二号入口菓木園ニテ、コンプランター数台ニテ玉蜀黍播種試験ノ景」と記載されていたので、農機具はコンプランターで、リンゴ（菓木）園で試験的に玉蜀黍を播種していることがわかった。ほかの官園よりも、実験的要素の強い七重らしい写真である。

ところで、この写真を拡大すると、中央の馬だけがわずかにブレしているだけで、10名ほどの人物や、ほかの馬もブレずに写っていることがわかる。デジタル主流の現代ならともかく、明治期のカメラは、撮影に数秒かかることもあるので、もしかしたら撮影者が「撮るよー！」と声がけした瞬間に、人馬とも静止して撮影したのかもしれない。その情景を想像すると、やらせ写真みたいな気もするが、これも時代の変化なのだろう。

### 4日 夜の博物館第2夜

この回のテーマは「知内の民間信仰」です。講師は、知内町郷土資料館学芸員の竹田聡さん。町内に伝わる「大野土佐日記」を紐解きながら、江戸期から始まったといわれる、「十七夜講」の歴史などの詳しい解説をして頂きました。毎年1月17日に行われる十七夜講は、宮司以外はすべて女性で、明治の頃は、札幌、青森、秋田からも参加したそうです。祭壇には、乳房型のしとぎが供えられ、上から棒を使い、割る儀式を行います。他に、寒中みそぎとの関連性もあることや、厄払いの祈禱も行っていた、という興味深いお話を聞きました。



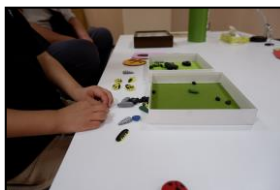
### 27日 ジュニア探検クラブ

「虫は好き？それとも嫌い？」。なぜこんな問いから始まったかということ、この日のプログラムは、「昆虫標本づくり」だからです。講師は、道南虫の会の小松利民氏。採集の道具の説明からはじまり、毒蛾の注意点、研究対象である「蛾」のお話、スライドを見ながら、クイズに答えたりと、最初は、虫を見るのも苦手だった子どもたちも、次第に興味をもちだします。さて標本作りとなると、これがなかなか難しく、細かな作業に集中し取り組みました。少しは「虫嫌い」克服できたかな？



### テーマ展を開催中です。

現在開催中のテーマ展「すだく虫、めづる人」は、夏休みもあってか、世代問わず多くの方々にご来館頂いております。「すだく」の意味は、古語における「集まる」の意、「めづる」はおなじく「愛でる」の意です。虫は古来「蟲」と書き、生きもの全体を表しました。人々の暮らしの中で生きている昆虫は、成句や詩歌にも多く登場します。標本を見て生態に感嘆するもよし、漢字名や詩歌に日本語の美しさを再発見するもよし。それぞれの楽しみ方でどうぞ。



1	日
2	月 休館日
3	火
4	水 夜の博物館
5	木
6	金
7	土
8	日 ジュニア探検クラブ
9	月 休館日
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月 敬老の日
17	火 休館日
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日 秋分の日
23	月 テーマ展CLOSE
24	火 休館日
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月 休館日

※休館日：2日、9日、17日、24日、30日

#### アルミ製お弁当箱

お弁当箱の素材は、時代により変化しています。軽さと丈夫さ、キャラクターのインパクト。懐かしさがじわじわきます。



#### 編集後記 ~tawagoto~

テーマ展示に関連して、古語や大和言葉を調べる機会を頂いた。日本語のもつニュアンスや音の響き、比喩表現の豊かさを見直したい。そんな中思い出したのが、夏目漱石の名著『草枕』。冒頭部は高校生の頃に読んで、流れるようなリズムに驚いた。何度も読み返して、今でも空で言える。当館学習室の全面的な改善から、今年で8年目。多ジャンルで入門書の蔵書にも力を入れている。スマホで知るのも悪くはないが、こっちもあるよ、がモットーだ。

# Pichari

~ピチャリ~

第200号

令和6年8月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp